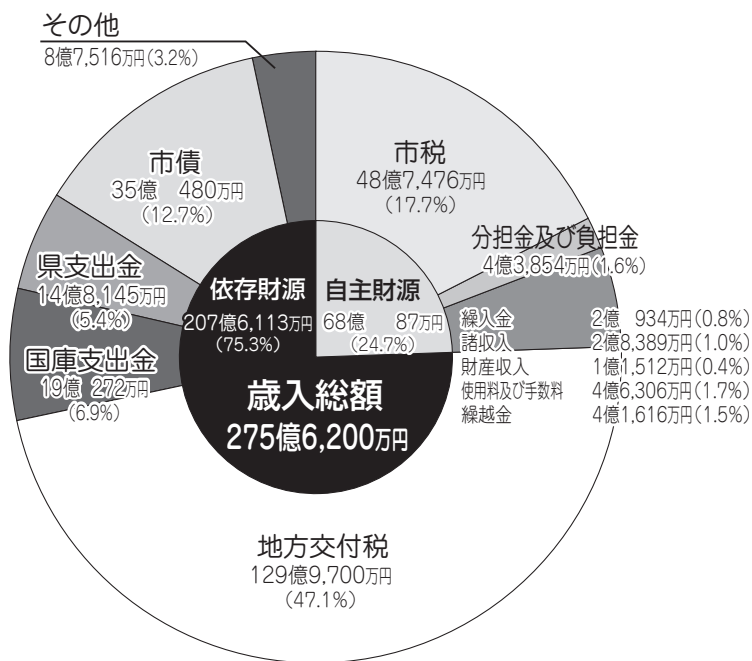
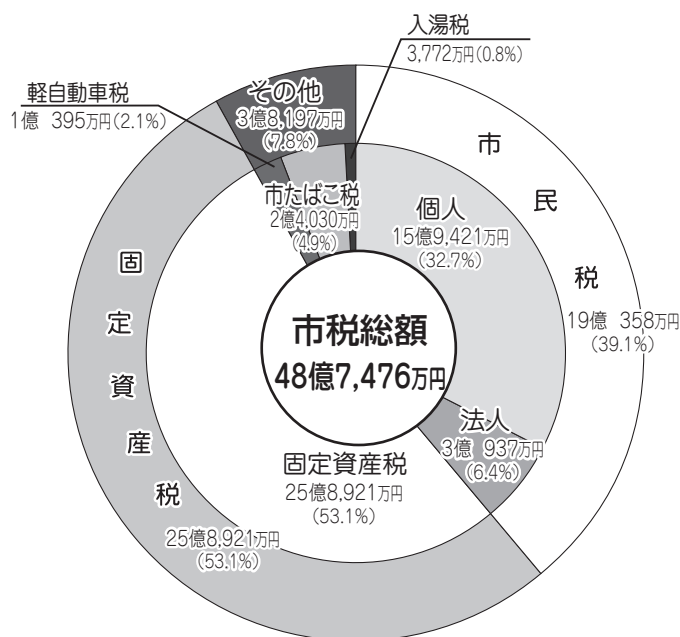




平成24年度
当初予算

市税の内訳



総 額	……482億9,335万円
一般会計	……275億6,200万円
特別会計	……157億 692万円
企業会計	…… 50億2,443万円

次の七つを柱とした予算編成

- 産業・雇用（地域資源を活かして産業を育てるまち）
- 環境・防災・社会基盤（美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち）
- 健康・福祉（支えあい助け合う安心のまち）
- 教育・文化・人づくり（香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち）
- 自治・まちづくり（市民と行政の協働により自律するまち）
- 地域振興（個性あふれる地域づくりを推進するまち）
- 行財政改革（身の丈に合った行財政体制の確立）

郡上市の平成24年度の予算の総額は、約483億円。そのうち福祉、医療、教育や道路整備などのみなさんにとって基礎的な行政サービスを行う一般会計が約276億円となっています。

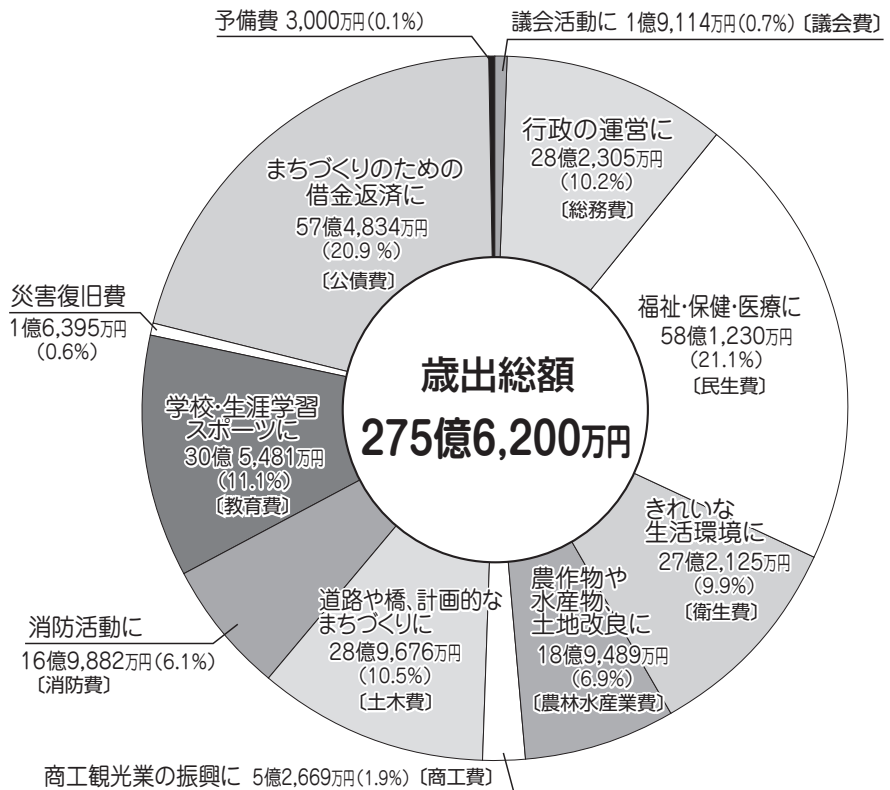
平成24年度は、4月1日の市長選挙と市議会議員選挙を前にして、一部の政策的予算を差し控えたことから、平成23年度の当初予算に比べて、一般会計で4.3%の減となっています。一般会計の歳入のうち市税は、48億7,476万円（前年度当初予算比1.5%減）、国庫支出金は、安全・安心な学校づくり交付金の減額などにより19億272万円（同8.3%減）、地方交付税は、地域経済基盤強化・雇用等対策費の計上などにより、129億9,700万円（同1.0%増）を見込んでおり、市債は公債費負担適正化計画による発行限度額が3億円減少したことなどにより、35億480万円（同9.2%減）となっています。

また、前年度に引き続き国民健康保険特別会計の医療費増大に伴う保険税負担の緩和を図るために、財政調整基金から1億円を繰入れ、さらに、農林漁業資金元利補給金（林道費）において償還残金の繰上償還の財源とするために、同基金から5,0

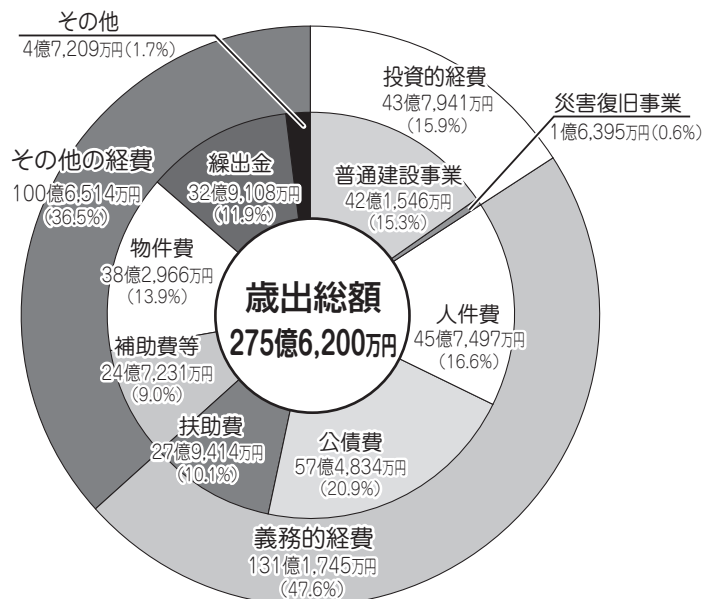
～用語解説～

- 市税…市民のみさんから納めていただく市民税や固定資産税など
- 繰越金…前年度から繰り越されたお金
- 繰入金…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などから取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金
- 分担金および負担金…福祉事業や土木事業などに対する負担金
- 使用料及び手数料…住民票などの発行手数料や市営住宅などの使用料など
- 市債…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）
- 地方交付税…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金
- 国、県支出金…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などの財源として交付されるお金
- 人件費…職員、議員などに支払われる給与や報酬など
- 公債費…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金
- 扶助費…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用
- 普通建設事業費…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用
- 物件費…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需要費、備品の購入に充てられる費用
- 繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費

一般会計の主な使いみち



性質別の使いみち



43万円を繰入れました。市税収入などの自主財源は、68億87万円で全体の24.7%しかなく、地方交付税や国、県支出金などの依存財源の占める割合が大きなものとなっています。

歳出については、少子化対策や高齢者などに対する福祉医療、保健に使われる民生費（同4.4%減）や道路整備など市民生活に密接する土木費（同16.2%減）、学校教育や学校教育、社会教育に使われる教育費（同27.4%減）が大きな割合を占めています。また、まちづくりの借金返済にあたる公債費（同2.2%減）は、歳出全体の20.9%となっています。性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費（同2.5%減）は47.6%と大きな割合を占め、普通建設事業などの投資的経費（同20.6%減）は、15.9%となっています。また、一般会計から特別会計へ支出される繰出金（同5.7%増）の割合も11.9%と大きくなっています。

今後とも大変厳しい財政状況が続くと思われる、引き続き職員定数の適正化と公共施設の見直しなどを進め、財政の健全化を最重要課題として、行政改革に取り組んで行く必要があります。

全会計における市債・公債費・市債残高の推移

(収入)

(支出)

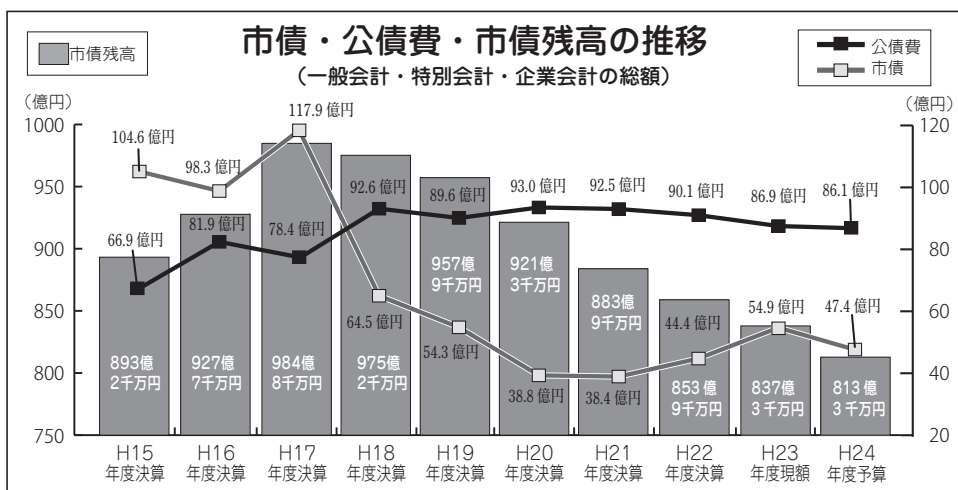
(ストック)

ここでは、市が道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（市債）、借り入れたお金の返済金（公債費）、借金の残高（市債残高）について、平成15年度末の合併時から平成24年度（予算）までの間に、どのように推移してきたのかを表とグラフを使って説明します。

▼市債（借入金）の推移…合併時の104億6千万円から比較すると、今年度の当初予算では半分以上の47億4千万円となっています。市の厳しい財政状況から、今後も新たに借り入れるお金を減らしていく取り組みを継続します。（平成16年度から平成17年度にかけて増えているのは、市民病院建設等のために一時増加しました）

▼公債費（返済金）の推移…平成20年度の93億円をピークに、今年度の当初予算では86億1千万円となっています。今後も大きな変動はありませんが、徐々に減額となる見込みです。

▼市債残高（借金残高）…合併時から平成17年度までは増加し、最大で984億8千万円でした。新年度においての残高見込みは813億3千万円となりますので、7年でピーク時の17.4%を減額しました。今後も借金残高を減らす努力を継続します。



一般会計

単位: 億円

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
市 債	70.8	68.7	58.5	46.3	38.4	31.5	33.4	38.7	46.1	35.0
公 債 費	52.1	59.8	55.1	58.1	61.5	60.9	59.3	62.0	58.7	57.5
うち元金分	42.6	50.3	46.2	49.1	52.6	52.4	51.3	54.5	51.1	50.3
うち利子分	9.5	9.6	9.0	9.1	9.0	8.5	8.0	7.5	7.6	7.2
市債残高	507.6	526.1	538.4	535.6	526.3	505.4	487.5	471.7	466.7	451.5

特別会計

単位: 億円

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
市 債	25.2	18.6	14.8	14.3	15.4	6.9	4.8	5.7	7.8	10.5
公 債 費	10.9	17.4	19.1	22.0	23.2	27.3	28.1	22.6	22.4	22.8
うち元金分	8.7	10.7	12.2	15.0	16.3	20.4	21.6	16.6	16.6	17.2
うち利子分	2.2	6.7	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	6.0	5.8	5.6
市債残高	326.6	334.5	337.2	336.4	334.2	320.7	303.8	292.9	284.2	277.5

企業会計

単位: 億円

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
市 債	8.6	11.1	44.6	3.9	0.5	0.4	0.2	0.0	1.0	1.8
公 債 費	3.9	4.6	4.1	12.5	4.9	4.8	5.1	5.5	5.8	5.8
うち元金分	2.3	2.9	2.5	10.0	2.6	2.5	2.9	3.4	3.8	3.8
うち利子分	1.6	1.7	1.6	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.0	2.0
市債残高	59.0	67.1	109.2	103.2	97.5	95.2	92.6	89.2	86.4	84.3

合 計

単位: 億円

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
市 債	104.6	98.3	117.9	64.5	54.3	38.8	38.4	44.4	54.9	47.4
公 債 費	66.9	81.9	78.4	92.6	89.6	93.0	92.5	90.1	86.9	86.1
うち元金分	53.6	63.9	60.8	74.1	71.5	75.4	75.8	74.5	71.5	71.3
うち利子分	13.3	18.0	17.6	18.5	18.2	17.6	16.7	15.6	15.4	14.8
市債残高	893.2	927.7	984.8	975.2	957.9	921.3	883.9	853.9	837.3	813.3

※市債、公債費、市債残高の平成22年度以前は決算の数値です。

※数値は四捨五入により、合計額と合わない場合があります。

※平成23年度、24年度の数字は、今後の決算や補正予算によって変わることがあります。

予算現額 当初予算

平成 24 年度

予 算

全会計一覧

会 計		平成24年度予算額	平成23年度予算額	増減率 (%)	予算の内容
一 般 会 計		275億6,200万円	288億1,100万円	▲4.3	基礎的な行政サービスに
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	51億 446万円	51億 296万円	0.0	国民健康保険の運営に
	国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	4 億9,445万円	4 億5,179万円	9.4	高鷲・和良歯科・和良診療所の 運営に
	簡易水道事業特別会計	12億 780万円	7 億8,217万円	54.4	簡易水道の供給や工事に
	下水道事業特別会計	28億2,118万円	25億6,961万円	9.8	下水処理や下水道工事に
	介護保険特別会計	37億6,589万円	35億 761万円	7.4	介護保険の運営に
	介護サービス事業特別会計	7 億2,000万円	6 億8,028万円	5.8	郡上偕楽園特別養護施設の運 営と白鳥病院などで行う介護 サービスの運営に
	ケーブルテレビ事業 特別会計	8 億3,906万円	9 億9,260万円	▲15.5	郡上ケーブルテレビや情報基 盤の整備、管理運営に
	駐車場事業特別会計	420万円	414万円	1.5	市営駐車場の管理運営に
	宅地開発特別会計	4,247万円	4,247万円	0.0	分譲地の販売及び経費に
	青少年育英奨学資金貸付 特別会計	1,222万円	899万円	35.9	就学の支援に
	鉄道経営対策事業基金 特別会計	1,192万円	1,192万円	0.0	長良川鉄道の基金利息
	後期高齢者医療特別会計	5 億3,355万円	5 億1,137万円	4.3	高齢者の医療のために
	大和財産区特別会計	1,741万円	2,064万円	▲15.7	財産区有林の育成に
	白鳥財産区特別会計	434万円	870万円	▲50.1	財産区有林の育成に
	牛道財産区特別会計	1,675万円	1,777万円	▲5.7	財産区有林の育成に
	北濃財産区特別会計	507万円	757万円	▲33.0	財産区有林の育成に
	石徹白財産区特別会計	2,748万円	3,260万円	▲15.7	財産区有林の育成に
	高鷲財産区特別会計	2,627万円	3,208万円	▲18.1	財産区有林の育成に
	下川財産区特別会計	655万円	377万円	73.7	財産区有林の育成に
	明宝財産区特別会計	2,351万円	3,091万円	▲23.9	財産区有林の育成に
	和良財産区特別会計	2,234万円	2,734万円	▲18.3	財産区有林の育成に
特別会計 計		157億 692万円	148億4,729万円	5.8	
企 業 会 計	水道事業会計 (収益) (資本)	2 億8,959万円	2 億7,540万円	5.2	上水道の供給や上水道工事に
		1 億2,238万円	2 億1,496万円	▲43.1	
	病院事業等会計 (収益) (資本)	40億7,039万円	40億 562万円	1.6	市民病院、白鳥病院の運営に
		5 億4,207万円	4 億5,338万円	19.6	
企業会計 計		50億2,443万円	49億4,936万円	1.5	
総 額		482億9,335万円	486億 765万円	▲0.7	

平成24年度
主な事業

(市総合計画後期基本計画の施策体系に基づく分類)

1. 産業・雇用（地域資源を活かして産業を育てるまち）
- (イ)自然と共生した農・林・畜産・水産業を育てます
- 新規就農総合支援事業……………（900万円）
- 地場農産物拡販奨励事業……………（95万円）
- 森林整備地域活動支援交付金事業……（9,650万円）
- 有害鳥獣捕獲奨励金事業……………（2,135万円）
- 道整備交付金事業（八幡：雁子線、大和：大間見線、白鳥：干田野～石徹白線他1、美並：苅安～雁曾礼線明宝：鎌辺～明山線）……………（1億780万円）
- (ロ)人・もの・情報の集まる商工業を育てます
- ビジネスフェア等出展支援事業……………（134万円）
- 食の王国づくり事業……………（419万円）
- 新商品開発支援事業……………（338万円）
- 小口融資貸付事業……………（4,005万円）
- 商工会活動事業……………（250万円）
- (ハ)地産地消を推進します
- 森林資源活用事業……………（515万円）
- 学校給食地産地消推進事業……………（76万円）
- (ニ)地域産業の核となる観光・交流産業を育てます
- 観光振興対策事業……………（654万円）
- 観光協会活動事業……………（5,495万円）
- イベント開催事業……………（3,517万円）
- さくらサミット開催事業……………（67万円）
- 首都圏情報発信事業……………（52万円）
- 観光マップコンテスト事業……………（23万円）
- (ホ)雇用の場・機会を創出します
- 商工会活動事業……………（3,720万円）
- 構造改革支援事業……………（3,290万円）
- 商工総務事務経費……………（15万円）
2. 環境・防災・社会基盤（美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち）
- (イ)自然環境を守り、快適な住環境の実現をめざします
- 自然環境保護対策事業……………（231万円）
- 郡上市景観百景プロジェクト事業……………（150万円）
- 公営住宅等ストック総合改善事業……………（600万円）
- 住宅維持補修事業（市営住宅）……………（2,933万円）
- 小規模（里山）森林整備事業……………（76万円）
- (ロ)廃棄物対策を推進し、循環型社会を実現します
- 一般廃棄物収集費……………（1億7,903万円）
- 郡上クリーンセンター大規模修繕事業……………（1億8,000万円）
- 環境衛生センター大規模修繕事業……（5,177万円）
- 住宅用太陽光発電システム設置補助事業……………（240万円）

- ごみ減量化対策事業……………（230万円）
- (ハ)暮らしの中の安全・安心を守ります
- 消防団活動費……………（3,715万円）
- 消防団員退職報償経費……………（9,840万円）
- 消防団貸与被服整備事業……………（1,855万円）
- 消防施設整備事業……………（1億6,041万円）
- 災害対策事業費……………（2,029万円）
- 生活安全対策事業……………（627万円）
- (ニ)利便性と安全・安心の基盤整備を進めます
- 社会資本整備総合交付金事業（八幡：生屋区内1号線他1、白鳥：大島・中津屋線他3、高鷲：ぜんまい2号線他2、美並：深戸～梅原線他1）……………（3億5,033万円）
- 合併特例道路整備事業（八幡：小野区内線、大和：宮前線、白鳥：中学校線、高鷲：住屋線他1、美並：相戸本線他5）……………（3億2,235万円）
- 過疎対策道路整備事業（明宝：日洞線他3、和良：方須乙原線他6）……………（2億2,730万円）
- 辺地対策道路整備事業（八幡：黒佐区内3号線、大和：繁久線他3、白鳥：白鳥中西線他2、高鷲：切立線、美並：七曲線他2）……（3億7,850万円）
- 道整備交付金事業（八幡：小野区内線、大和：正神路線、白鳥：大林線、高鷲：やまびこ線他2、美並：新羽根本線、和良：西切線）……（8,500万円）
- 河川自然災害防止事業（大和：洞口洞谷、美並：井戸上谷他1）……………（4,000万円）
- 急傾斜地崩壊対策事業（八幡：在原地区他1）……………（2,085万円）
- (ホ)公共交通網を整えます
- バス運行経費……………（6,440万円）
- 地方交通対策経費……………（7,388万円）
- 長良川鉄道支援対策事業……………（1,542万円）
- 長良川鉄道近代化整備事業……………（4,112万円）
- 地域公共交通確保維持改善事業……………（1,012万円）
- (ヘ)情報基盤を整備・活用し、暮らしの可能性を広げます
- 携帯電話等エリア整備事業……………（1,113万円）
- 消防デジタル無線整備事業……………（6億1,000万円）
- 行政ネットワーク機器更新事業……（1億2,200万円）
3. 健康・福祉（支えあい助け合う安心のまち）
- (イ)安心して子どもを産み、育てることのできるよう支援を充実します
- 小中学生医療費助成事業（市）……………（8,128万円）
- 乳幼児医療費助成事業（県）……………（6,494万円）
- 子育て短期支援事業……………（51万円）
- 子どものための手当給付事業……（5億7,630万円）
- 放課後児童健全育成事業……………（985万円）
- 地域子育て支援拠点事業……………（2,048万円）
- 新生児聴覚検査支援事業……………（102万円）
- 特定不妊治療費助成事業……………（200万円）
- 妊婦健診……………（3,411万円）

- (ロ)心身とも健やかな暮らしの実現をめざします
- 自殺予防対策事業……………（105万円）
- 〈光をそそぐ交付金〉自殺予防対策事業……………（277万円）
- 予防接種事業……………（1億1,425万円）
- 基本検診……………（942万円）
- がん検診……………（7,487万円）
- (ハ)自立を支援できる総合福祉をめざします
- 自立支援給付介護支援事業……………（5億2,900万円）
- 自立支援給付訓練等給付事業……（1億3,975万円）
- 重度心身障害者医療費助成事業……（2億6,978万円）
- 生活保護扶助経費……………（2億3,300万円）
- 社会福祉協議会活動事業……………（4,570万円）
- 障害者相談事業……………（37万円）
4. 教育・文化・人づくり（香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち）
- (イ)「確かな学力」と「豊かな心」を育てる教育活動と教育環境を充実します
- 中学校校舎等整備事業（大和・白鳥中など）……………（3億6,372万円）
- 中学校耐震補強事業（八幡中屋体）……………（3億2,834万円）
- 小学校校舎等整備事業（市内8小学校の修繕）……………（5,053万円）
- 小・中学校防災用品整備事業……………（796万円）
- 教師用指導書等購入事業……………（860万円）
- 郡上学－小学生体験活動推進事業……………（50万円）
- 郡上学－中学生体験活動推進事業……………（288万円）
- (ロ)市民が地域文化に触れる機会を広げます
- 郡上学推進事業……………（812万円）
- 郡上考現学市民講座事業……………（105万円）
- 生涯学習振興事業……………（860万円）
- 文化振興事業……………（707万円）
- 公民館活動経費……………（991万円）
- 伝建制度推進事業……………（399万円）
- (ハ)スポーツを通じて交流の機会を広げます
- 国体開催事業……………（1億3,993万円）
- スポーツ大会開催事業……………（450万円）
- 少年スポーツ推進事業……………（1,445万円）
- スポーツ推進委員活動事業……………（669万円）
- 体育協会支援事業……………（826万円）
- (ニ)生涯学習の充実を図り、地域を担う人材育成の機会を広げます
- 公民館活動経費……………（3,228万円）
- 図書等整備事業……………（1,312万円）
- 青少年育成活動推進事業……………（429万円）
- 公民館施設整備事業……………（4,700万円）
- 生涯学習振興事業……………（284万円）
5. 自治・まちづくり（市民と行政の協働により自律するまち）
- (イ)市民と行政の協働によるまちづくりの仕組みを整え

- ます
- 過疎地域自立促進事業……………（1,522万円）
- 地域おこし協力隊派遣事業……………（700万円）
- 自治会組織等活性化事業……………（100万円）
- 集落総点検・夢ビジョン策定モデル事業……………（255万円）
- 市民協働推進事業……………（300万円）
- (ロ)すべての市民が尊重される地域社会をめざします
- 国際交流推進事業……………（93万円）
- 男女共同参画推進事業……………（29万円）
- 人権啓発活動事業……………（67万円）
- 社会教育団体育成事業……………（100万円）
- (ハ)交流・連携によるまちづくりを推進します
- 交流・移住推進事業……………（650万円）
- 都市交流調査研究事業……………（21万円）
- 都市交流推進事業……………（43万円）
- (ニ)市民にとって身近な市役所をめざします
- 振興事務所窓口業務実施事業……………（366万円）
- 総合案内委託事業……………（270万円）
- 戸籍住民基本台帳システム更新等経費……………（598万円）
- (ホ)市民に分かりやすい開かれた市政を進めます
- 広報活動経費……………（852万円）
- ホームページ管理経費……………（76万円）
- (ヘ)成果を重視する効率的な行財政運営を進めます
- ふるさと寄付金事務経費……………（67万円）
- 庁舎等整備事業……………（3,156万円）
- 行政改革推進事業……………（49万円）
6. 地域振興（個性あふれる地域づくりを推進するまち）
- 地域振興推進事業……………（1,960万円）
7. その他の経費
- 一般職・特別職給（定員適正化計画の着実な取り組みにより17人の削減を行いました、職員共済費負担率が増加するなどの影響もあり、削減額は一般会計で9,382万円となりました。）……………（42億9,443万円）
- 議員報酬……………（1億3,665万円）
- 臨時職員共済費他……………（9,318万円）
- 事務経費……………（8億5,720万円）
- 施設管理運営経費……………（21億5,303万円）
- 特別会計繰出金……………（32億9,108万円）
- 公債費（公債費負担適正化計画に基づく、地方債の借入額抑制や繰上償還により、対前年度比で1億2,637万円の減となりました。平成24年度末の市債残高見込みは451億5,103万円となり、臨時財政対策債の残高が5億9,574万円増額となる中、その他の通常債残高は21億1,605万円減少し、全体で15億2,031万円の減額となる見込みです）……………（57億4,834万円）
- その他（学校給食賄経費・災害復旧費など）……………（19億4,587万円）